



# 社会教育便り

## 〈取組紹介〉

### ～家庭・地域のキャリア教育推進のために～ 「就学前からの家庭で進めるキャリア教育」

西部教育事務所では家庭・地域のキャリア教育を推進していく取組の一環として、就学前の保護者の皆さんに「子どもたちの未来（キャリア）のためにみんなで力を合わせてこんなことをやっていきませんか？」というメッセージを発信していこうと考えています。

今年度は、高知県教育委員会幼保支援課の支援のもとに、まず各市町村の保育所担当部署への趣旨説明を行い、その後、各市町村の保育所長さんへ詳しい内容説明を行いました。

今回はその取り組みについて、Q&A形式で紹介します。

#### Q1 キャリア教育って何ですか？

A キャリアとはラテン語で「わだち」という意味になります。具体的にいえば「子どもたちが将来、社会的・職業的に自立していく力」をつけるための教育です。

#### Q2 どうして今、キャリア教育が必要なのですか？

A 子どもたちを待ち受ける未来は決して明るいことだけではありません。若者をめぐる問題、日々急激に変化している情報化社会や少子高齢化など・・・不安なことはたくさんあります。そんな中で私たち大人は、どのような社会環境でも、「社会の一員として周囲の人々と関わり合いながら、自分らしく、逞しく生き抜く力」を子どもたちにつけることが重要だと考えます。

※高知県教育委員会では就学前から高等学校までの系統立った教育指針として「高知のキャリア教育」を策定しています。

◇詳しくは高知県教育委員会HP

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/careereducation.html>

をご参照下さい。



#### Q3 具体的にはどんな取り組みを推進していきますか？

A 各保育所の取組にに応じて、保護者懇談会等の可能な時に保護者の皆さんへ説明する活動を行っていきたくと考えています。

## Q4 どんな内容の話をしますか？

A 話の中身はつけたい力とその具体的な取組方法です。例を2つ紹介します。

### 例①「お手伝いでつけたい力」



**お手伝い**をすることの意味は「忍耐力をつける。言われたことがしっかりできる」ということでしょうか？それもあるとは思いますが・・・

お手伝いをすることによって、子どもが得るものは何でしょうか？お手伝いをするとうどんな力がつくのでしょうか？

お手伝い

「ありがとう！」  
家族から感謝される

人の役に立つ喜び！

自己肯定感

「自分は必要とされている。  
価値のある存在なんだ。」

もっと人の役に立ちたい

自立への一歩



### 例②「子ども読書の日」

「本を読むこと」の重要性は多くの方が感じている事と思います。本を通して子どもたちは「知識」を身につけ「想像力」を膨らませ「夢」を描きます。

西部教育事務所では毎年4月23日に「大切な人に本を贈る風土」をこの幡多の地に根づかせていきたいと考えています。

大切な人への思いや、贈ったときの笑顔を思い浮かべながら本を選び、その「想い」をメッセージとして大切な人に伝えます。そんな素敵な時間を年に一度持ちませんか？

子どもへ贈るメッセージ

大切な人へ  
本を贈ろう

4月23日は「子ども読書の日」です。

この日を幡多の教育風土として、

「大切な人へ本を贈る日」にしませんか・・・



ほもや連絡

「サン・ジョルディの日」を知っていますか？

その昔、スペインのカタルーニャ地方にサン・ジョルディという伝説の騎士がいました。いつしかその地方では、彼が舞教した4月23日を「サン・ジョルディの日」として、恋人同士が「本」と「花」を贈り合って愛する気持ちを伝え合う習慣ができたと言われています。

また、その日は文豪として名高いシェイクスピアとサルヴァンテスの命日でもあることから、ユネスコ総会においても「世界本の日」と定められています。

2例紹介しましたが、他にも「挨拶の大事さ」「子どもを褒めること」「将来の夢を描く」など、将来自立した社会人として、次世代を担っていく子どもたちに、「つけたい力」について考える場となればと考えています。

内容については保育所の要望に応じて、具体的にお話したいと考えています。また希望により、小中学校の現状なども含めてお話しできます。

もっと詳しいことを聞きたいときは

西部教育事務所 社会教育担当（岡崎・松下）

TEL 0880-34-0866

までご連絡ください。